

千葉大学医学部附属病院で肺癌の手術を受けた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年9月30日
呼吸器外科/病理診断科

呼吸器外科/病理診断科では、肺癌の手術後のデジタル写真をもとに、人工知能を用いて術後生存を予測するための研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2013年1月1日～2020年12月31日の間に原発性肺癌に対して手術を受けた方

1. 研究課題名

「Deep learning による病理標本を使用した肺癌の術後生存予測モデルの作成」

2. 研究期間

2024年承認日～2029年12月31日

この研究は、観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

1998年以降、日本における癌での死亡率は肺癌が最多を占めています。また、日本ではCTの普及に伴い、早期の肺癌が検出されやすく、手術による治療を受ける方が多くいらっしゃいます。肺癌に対する手術後の詳細な生存予測は、肺癌治療後の抗がん剤治療や外来での経過観察終了時期などを決める上で重要な判断材料になると考えます。

従来はがんの種類のほか、大きさ、リンパ節、脳や骨など肺以外の臓器への転移の三つの要素から進行度を決定し、それに基づいてその後の治療について決定していました。しかしながら、より細かい情報を、人工知能を用いた画像解析にかけることで、手術を受けた患者様自身に即した生存率の把握や治療選択肢を提示することができるようになることを目的とし、手術後の肺のプレパレート写真を画像解析にかけて、診療情報

と結びつけ術後生存を分析しようとしています。

4. 研究に用いる情報の種類

手術時に採取された肺組織病理標本のデジタル写真
診療録に記載されている生死の状況

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：呼吸器外科 教授 鈴木秀海

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院呼吸器外科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。

(※情報が加工されてしまうため、すでに解析が終わった場合についてはそれまでの解析結果から特定の結果だけを削除することはできない場合があります。) 情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻 1－8－1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

呼吸器外科 医員 今林 宏樹

0 4 3 （ 2 2 2 ） 7 1 7 1 内線 5 4 6 4